

## 辞書引き大相撲

国語の授業で、「辞書引き大相撲」を始めました。

国語の学習の中で、辞書を使って言葉の意味を調べるということがあります。これまでに国語辞書の学習をしましたね。辞書を引いて言葉を探す、調べるというのは大切なことなのですがどうしても「面倒くさい」「時間がかかる」などで引くのがおっくうになってしまいがちです。ですから、国語の授業で「意味調べをしてきてね」という課題を出してもなかなか取り組んでくれません。そこで、辞書を学校の授業中に引くことにしました。それがこの「辞書引き大相撲」です。

二人で対戦形式をとります。担任が教科書の中からひとつ探す言葉を提示します。「はっけようい、のこった。」の合図で一斉に引きはじめ、相手よりも先にその言葉を探した方が勝ちとなります。

カードには自分の四股名（自分の名前から字をとってつける。たとえば担任だったら、玲の富士のように）を書き、相撲の地位も書き加えます。前頭・小結・関脇・大関・横綱と7日間つまり7回勝負をして勝ち越すと上に上にとあがっていきます。その代わり負け越すと下がる仕組みですね。

先日、第1回目（辞書引き大相撲では、4月場所と呼んでいます）を行いました。みんな真剣です。対戦が終わるたびに「勝ったあ」「負けた」とい

う声が聞こえてきました。

辞書を引くということがおっくうなのは時間がかかり、とても面倒なことだと子どもたちは思っているようです。そうではなく、この様にして早くそして引くことになれておけばすぐに辞書を引いてみようと思うはずです。いつもそして、辞書がちかくにある、辞書が引きなれているそのようになってほしいのです。

このカードは、マッキーノと同じ綴りにつづっておいてください。

国語辞典引き大相撲	
月場所星取表	
股名	
初 二 三 四 五 六 七	
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

## 2回目の席替え実施

4月18日は満月だったので2回目の席替えを実施しました。つまり、掃除場所も変更しました。

## 明日、聴力検査

耳そうじを忘れずに！